中央農業高校 校長室だより 号外

― 命はぐくむ学びの風景 ―

神奈川県立中央農業高等学校　校長　岩崎秀太

活躍する部活動！ ～陸上競技部・バスケットボール部が躍動！～

本校の部活動では、生徒たちが日々の練習の成果を発揮し、各種大会で素晴らしい活躍を見せています。今回は、陸上競技部の葛西君の関東大会・全国大会での快挙と、男女バスケットボール部の熱戦を紹介します。

●陸上競技部　葛西君が関東大会５位！ 全日本競歩大会でも２着の快挙！

陸上競技部の葛西俊毅君（農業総合科２年）が、競歩競技で目覚ましい活躍を続けています。



10月24日（土）、横浜市の日産スタジアムで開催された「第30回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会」では、男子5000m競歩に出場し、**21分46秒86の自己新記録で見事５位入賞！** これまでの自己ベストを約45秒も更新する素晴らしい走りを見せました。来年度のインターハイ出場も現実的な目標となり、今後のさらなる飛躍が期待されます。



翌25日（日）には、山形県高畠町で開催された「第63回全日本競歩大会」の高校男子10km競歩にオープン参加し、**45分09秒の自己ベストを記録して２着でフィニッシュ！** 見事、表彰台に立ちました。

長距離移動や連戦、雨交じりの天候、さらに前日の倍となる距離への挑戦という厳しい条件の中での快挙です。先頭選手が11年ぶりの大会新記録を樹立するハイペースの展開にも惑わされず、自分のペースを守り抜いた精神力と粘り強さは実に見事でした。

日々の地道な努力が着実に実を結んでいる葛西君。来年度のインターハイ出場、そして全国の舞台でのさらなる活躍を期待しています。

●男子バスケットボール部　強豪・大和西高校に挑戦！

11月１日（日）、男子バスケットボール部は大和西高校と対戦しました。

結果は**51対62で惜しくも敗戦**となりましたが、格上の相手に互角の戦いを見せる場面もありました。試合途中には、先生方から思わず「強いね！」という声が上がるほどの健闘ぶりでした。

選手たちは最後まで諦めることなく、仲間と声を掛け合いながら懸命にプレーしました。強い相手に挑戦し、自分たちの力を試すことができたことは、大きな自信と今後の成長につながる貴重な経験となったことでしょう。

●女子バスケットボール部　相模原城山高校に快勝！ 強豪校にも果敢に挑戦！

11月３日（火・祝）、女子バスケットボール部は相模原城山高校と対戦し、**65対43で見事勝利を収めました！**

試合では、選手たちが日頃の練習の成果を発揮し、仲間と声を掛け合いながら粘り強いプレーを展開しました。今回の勝利は、部員一人ひとりの努力とチームワークの成果であり、大きな自信につながる一勝となりました。

続く11月８日（日）には、県ベスト８の実力を持つ強豪・相模女子大学高等部と対戦しました。

結果は26対93で敗れましたが、選手たちは最後まで諦めることなく、懸命に戦い抜きました。県内トップレベルのチームとの対戦は、技術やスピード、チーム力の違いを肌で感じる貴重な機会となりました。

試合では、強豪校を相手に苦しい場面が続く中でも、３年生を中心に声を掛け合い、励まし合いながら全力でプレーする姿が見られました。また、相手チームの高い技術や試合運びから学ぶことも多く、今後の練習に向けて新たな目標を見つけることができたと思います。

強い相手と戦ったからこそ得られる経験があります。この経験を次の成長につなげ、さらに力をつけてくれることを期待しています。







会場で感じた中農生の成長と可能性

今回のバスケットボール部の試合では、応援に駆けつけた先生方からも、男女ともに大きく成長した姿に驚きと喜びの声が寄せられました。

強い相手にも臆することなく挑戦し、最後まで全力で戦う姿は、勝敗以上に価値のあるものです。日頃の練習を通して培われた技術だけでなく、仲間を信じる気持ちや精神的な強さも確実に育っていることを感じます。



挑戦する中農生を応援しています！

陸上競技部の葛西君の快挙、男子バスケットボール部の健闘、そして女子バスケットボール部の見事な勝利と強豪校への挑戦。いずれも、目標に向かって努力を積み重ね、困難に立ち向かう中農生の姿を示してくれました。

部活動で得られる経験は、競技力の向上だけでなく、社会で生きていくための大切な力にもつながります。

これからも、一人ひとりが自分の可能性を信じ、仲間とともに挑戦を続けてほしいと思います。

頑張れ、中農生！　さらなる活躍を期待しています！

「命はぐくむ」の理念のもと、生徒一人ひとりの成長を支えてまいります。
神奈川県立中央農業高等学校